

現代に合わせた床座の提案

Proposal of floor seating adapted to the modern age

本石 吾守馬
指導教員 坂元 愛史

サレジオ工業高等専門学校 デザイン学科 インテリア・家具研究室

キーワード：床座, 和室, 畳

1. 研究目的

日本は古くから床座を中心とした生活をしてきた。しかし、欧米の文化の流入により椅子座を中心とした生活に変わってきている。それは和室が減り、洋室化していった過程と一致している。だが、洋室であろうと多くの日本人はフローリングやソファの上で足を上げて胡坐をかくなど、どうも床座から完全に離れたとはいえない生活を送っているようだ。そこで床座の良さを改めて生活の一部として取り入れ、日本人がより快適に感じる暮らしの構築を目指すこととした。

2. 調査内容

・和室と洋室の認識調査について

和室の定義は人によってまちまちである。そこでサレジオ高専デザイン学科5年生(36名)に対しGoogleフォームを用いて和室の要素を聞くアンケートをとったところ「畳がある」という回答が一番多く、次に「引き戸で仕切られていること」が多かった。洋室では、「フローリング」があることが最も多かった。

洋室での過ごし方はソファを使ってくつろいでいることが多く、床に座る場合はマットを敷いたりクッションを置いたりして過ごしていることがわかった。

・畳の生産量

畳の生産量を調べることで和室の増減がわかるのではないかと思い調べた。畳の生産量は東日

本大震災によって一時期増加したが、また減少傾向になっている。このことから和室は減って来ていると予測できる。図1



資料：財務省「貿易統計」、農林水産省統計部、全国生産団体連合会(年は当該年の前年7月から当年6月まで)
注1:輸入畳(枚数)は、輸入量(単位:1万枚)×枚で算出したもの。
注2:国内生産量は、平成13年まで全国生産団体連合会調べ、平成14年以降は農林水産省統計部調査(生産額)による。
注3:輸出品には、敷物及びすだれ以外の植物性材料製の経路材料からなる物品等の輸出品も含まれている。

1

図1

・畳のメリット

断熱性や調湿性能に優れているい草が原料である畳は、材料の一本ずつに空気が含まれており、高い断熱性能を持っている。熱伝導率の低い空気を多く取り込めるため、床下から上がってくる冷気を遮断することができる。

また、畳には大気中の水分を吸収したり放出したりする機能もある。梅雨の時期には、畳が湿気を吸収するため室内の湿度が低く保たれ、乾燥した冬の時期には水分を放出して湿度の低下を防げる。

リラックス効果のあるい草の香り

畳の原料であるい草には、さまざまな芳香成分が含まれている。香りによって、高いリラックス効果が期待できる

・日本の住宅性能について

日本の住宅性能は外国に比べ低い。しかし、エネルギー消費量は韓国では2倍、アメリカでは4～6倍ものエネルギーを使用し、部屋全体を温めている。これは「家全体を冬中暖める欧米と、コタツなどで暖を取る日本の違いのほか、寒さは我慢するしかないと思っている人が多い」ことや、「日本には断熱(内外の熱の出入りの遮断)の考えがあまり強くない時期が長く、冬に寒いのは当然と我慢して住んできた」ということから来ている。

・床暖房の普及率

床座のメリットを考えたとき、冬は設置面積が多くなり暖をとれるところにあると考え、そこで床暖房の普及率を調べた。普及率は勤労者世帯(27,788世帯)での床暖房設置率は12.9%(約3,584世帯)。勤労世帯・持ち家での平均普及率は16.2%。戸建ては13.8%マンションなどの共同住宅では30.8%にまで上る。また、床に近づくことでほこりを吸いやすくなる可能性があることについては、空気清浄機で解決できると考え、普及率を調べた。普及率は平成19年3月の36%から令和3年3月の45%まで年々増加傾向にあることがわかった(図2)。

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	
普及率	35.80%	37.11%	35.70%	36.60%	38.80%	40.00%	43.50%	
2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
	42.30%	44.40%	44.30%	42.60%	43.80%	43.70%	44.60%	45.20%

図2

このことからほこりはあまり気にしなくてもいいと考える。

3. コンセプトおよびアイデア展開

これまでの畳をイメージした椅子は畳をそのまま座面として使ったようなもの、椅子のポジションで使えるようにしたものが多いと感じた。しかし、それはただ畳を使ったに過ぎないものであるといえる。そこで畳の構造を利用したものを作ることによって椅子座としても使えるが、座り心地や使い心地は床座に近いものが得られるの

ではないかと考えている。

4. 参考文献

一般財団法人住宅・建築SDGs

促進センター：住宅の省エネルギー基準

https://www.ibec.or.jp/ee_standard/build_standard.html, 2022.07.04

畳表をめぐる事情

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/regional/attach/pdf/index-1.pdf>, 2022.06.13

消費動向調査：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/shouhi/ho nbun202103.pdf>, 2022.07.04

LIFULLHOME'S：賃貸物件を借りる前に知っておこう！畳とフローリングのメリット・デメリット

https://www.homes.co.jp/cont/rent/rent_00468